

平成 24 年 7 月

各 位

公開講演会開催のご案内

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学  
高等教育研究センター所長 有本 章

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より KSU 高等教育研究センターの活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、8 月 8 日（水）15 時より、弊センターにおきまして公開講演会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。「学士課程教育の質保証と単位制を考える」をテーマに、今日の大学教育改革について皆様と議論を深めたいと存じます。

下記の案内チラシを同封いたしますので、ご査収のうえ、よろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

敬具

記

(送付資料)

- ・ K SU 高等教育研究センター 公開講演会「学士課程教育の質保証と単位制を考える」開催のご案内

以上

【お問い合わせ先】

KSU（くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学）高等教育研究センター  
事務局（担当：深川）  
〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾 3515  
TEL 086-436-0281 E-mail rihe@ksu.ac.jp  
ウェブサイト [http://sakuyo.hisc.co.jp/koto\\_center/index.html](http://sakuyo.hisc.co.jp/koto_center/index.html)

# 「学士課程教育の質保証と単位制を考える」

開催のご案内

主催 / KSU高等教育研究センター

日時

2012年8月8日(水)  
15:00~17:00  
受付開始時間 14:30

概要

大学進学率が5割を超える高等教育の「ユニバーサルアクセス段階」の時代を迎え、大学に対する社会の期待はいよいよ高まり、学士課程教育の質保証が強く求められております。近く取りまとめられる予定の中教審の答申におきましても、学士課程教育の質保証は今後の大学改革における中心的アジェンダとして位置づけられると見られます。

将来の予測が困難な現代社会において、学生の「考える力」「生きる力」を涵養することは社会的な課題であり、大学においてはそのための質的転換が要請されます。そうした前提として、いま、単位制があらためて見直され、学生の質を伴った学修時間の確保に向けた取り組みが進んでいます。当日は、学士課程教育の質保証と単位制について皆さんと議論したいと思っております。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

会場

くらしき作陽大学  
6号館 102室

参加方法

## 事前申込必要

※必要事項(氏名・フリガナ・ご所属・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス)を明記のうえ、下記連絡先へメールにてお申し込み下さい。

参加費  
無料

(どなたでもご参加可能です。)

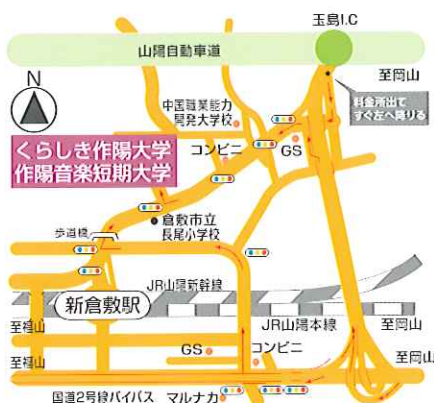
### ■アクセス

【JR 山陽本線・山陽新幹線】

新倉敷駅下車北口より徒歩 15 分

【山陽自動車道】

玉島インターより 5 分



講師

土持 ゲーリー 法一 氏

(帝京大学高等教育開発センター長・教授)

1980年 コロンビア大学大学院ティーチャーズ・カレッジ 比較・国際教育学 教育学博士 取得。

1990年 東京大学 教育学博士 取得。

専門分野は戦後教育改革史、比較教育学、大学教授法。主な著作として、『ポートフォリオが日本の大学を変える〜ティーチング/ラーニング/アカデミック・ポートフォリオの活用』(東信堂)、『戦後日本の高等教育改革政策—「教養教育」の構築—』(玉川大学出版部)、他多数。



### ■お問い合わせ先

KSU(くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学)  
高等教育研究センター

事務局(担当: 深川)

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾 3 5 1 5

☎ 086-436-0281

E-mail rihe@ksu.ac.jp

ウェブサイト

[http://sakuyo.hisc.co.jp/koto\\_center/index.html](http://sakuyo.hisc.co.jp/koto_center/index.html)

